

令和2年度(令和元年度実施事業分)事務事業評価評価票

No. 040-010

PDCA	事務事業名	市民交流センター管理運営事業	部課等名	企画部 市民協働課 市民交流センター担当	担当	高島	
					内線等	32-3430	
P 総合計画との関係性等	政策体系	章： 第1章 協働によりともに高め合うまち 節： 第1節 協働のまちづくりの推進 基本施策： 3. ボランティア・市民活動支援 単位施策： (2) ボランティア・市民活動支援体制の充実 個別施策： ④公益的活動の支援					
	根拠法令等	半田市市民活動支援センター管理規則					
	対象・目的	ボランティア、市民活動の総合窓口である「はんだまちづくりひろば」と駅前という好立地を活かした貸館の「市民交流プラザ」、地域全体で子育てを支援する拠点としての「子育て支援センター」などの総合施設として、市民から親しまれ、活気あるまちづくりの拠点をを目指す。					
	目的を達成するための手段・活動内容	ボランティア・市民活動の情報発信・交流の場としての機能を充実し、市民活動団体等の市民活動支援センターの活用を推進する。また、市民等が利用しやすい環境の維持及び整備に努めるとともに、様々な広報媒体を活用し、施設利用を啓発する。					
D 前年度の活動結果と見られた成果	活動結果	活動実績	29年度	30年度	元年度	単位	
		①センター開設日数	346	347	320	日	
		②ホール・ミーティングルーム使用件数	1,589	1,606	1,525	件	
		③市民活動支援センター使用件数	2,882	2,824	2,477	件	
		事業費	45,287	45,638	188,606	千円	
		人件費	8,566	8,687	8,735	千円	
		総事業費	53,853	54,325	197,341	千円	
		活動単位当たりのコスト	29年度	30年度	元年度	単位	
		①管理運営コスト(開設日1日当たり)	155,645	156,556	616,691	円	
		②					
	③						
	成果	成果指標	29年度	30年度	元年度	単位	
		①市民交流センター内貸室利用率	実績値	61.6	60.9	59.7	%
			目標値	65.0	65.0	65.0	
②		実績値					
		目標値					
③		実績値					
	目標値						
C 課題の整理	観点別評価	必要性	有効性		効率性		
		①市の関与の妥当性 妥当	④上位施策への貢献 大きい	⑦コスト削減余地 ある			
		②市民ニーズ 高い	⑤成果向上の余地 ある	※対象・手段の変更			
		③休廃止の影響 大きい	⑥類似事業の有無 ない	⑧受益者負担適正化余地 ある			
	事業の評価・課題	C					
		市民交流センターでのイベントにおいて、商業フロアと連携し1階フロアで実施するなど、駅前の賑わいの創出に努めた。施設の利用案内やイベント情報等の掲載を行うデジタルサイネージを設置することで情報発信機能を拡充し、Wi-Fiを館内全体で利用できるよう設備を充実させ、施設の利便性の向上に努めた。					
	A 課題解決のための目標	今後の事業の方向性	改善推進				
令和2年度の目標		市民交流センターで集客につながる新たなイベント等を行い、市民に親しまれる施設としての周知と駅前の賑わい創出に努める。また、利用率の低いホールの音響及び映像設備を拡充し、利便性を向上させる。さらに、デジタルサイネージ等を活用した観光情報の充実を図り、半田市の玄関口にふさわしい施設として管理運営する。					
		成果指標	目標値	単位			
		①市民交流センター内貸室利用率	65.0	%			